



住まいと環境 東北フォーラム 公開シンポジウム

震災復興の現在とこれから ～現地からの報告～

3月29日(火)/宮城建設産業会館/参加費無料

東日本大震災から5年が経過しようとしています。

18万人を越える避難者を出した大災害への対応は、
当初、困難を極めました。現在、各地における復興はかなり進んできています。

このシンポジウムでは、各県の復興がどの程度進んできているのか、
今後、どのような見通しとなっているのかについて報告いただきます。

また、いくつかの復興の事例について紹介いただき、建築関係者として震災復興に関
してこれからどのような貢献ができるかについて考える機会とします。

お誘いあわせのうえご参加下さい。

開催日時:平成28年3月29日(火)13:30～16:45(受付13:00より)

開催場所:宮城建設産業会館 1F 大会議室 (仙台市青葉区支倉町2-48 1F 大会議室)

対象:建築関係者、一般の方

定員:100名(定員になり次第締め切り)

プログラム:裏面参照

申込方法:①「3/29 震災復興シンポ参加申込み」とし、②参加者氏名、③会社名、④電話番号、⑤住所、⑥TEL・
FAX・E-mailを明記の上、FAXまたはe-mailにてお申込み下さい。裏面お申込み用紙をご利用下さい。

申込先:住まいと環境 東北フォーラム事務局 FAX:022-221-9243 E-mail:htoenv@rio.odn.ne.jp

※受講票の送付はありません。満席等で受け付けできなかった場合その旨お知らせします。

主催:住まいと環境 東北フォーラム (宮城県仙台市青葉区春日町3-8 春日町ファインビル4F TEL:022-221-9042)
共催:日本建築学会東北支部
後援:宮城県建築士事務所協会、空気調和・衛生工学会東北支部、
建築設備技術者協会東北支部、宮城県空調衛生工事業協会

3月29日(火)住まいと環境 東北フォーラムシンポジウム
『震災復興の現在とこれから～現地からの報告～』
参加申込書

住まいと環境 東北フォーラム FAX: 022-221-9243 E-mail: htoenv@rio.odn.ne.jp

※受講票の送付はありません。満席等で受付できなかった方のみその旨ご連絡いたします。

※自家用車ご利用の際は近隣の民間駐車場をご利用ください（割引制度等はございません）。

参加者氏名	
会社名（学校名）	
住所	〒
電話&FAX	TEL: FAX:
E-mail アドレス	

■プログラム(予定)

開 会 13:30

※敬称略

I 趣旨説明

吉野 博

(住まいと環境 東北フォーラム理事長
東北大学教養教育院 総長特命教授)

13:30-13:35

II 第1部

各県の復興の現在と見通し

13:35-15:05

(各30分・質疑含む)

(1) 岩手県の場合

辻村 俊彦

(岩手県 県土整備部 建築住宅課 住宅課長)

(2) 宮城県の場合

奥山 隆明

(宮城県 土木部住宅課 住宅課長)

(3) 福島県の場合

村井 弘道

(福島県 土木部建築総室 復興住宅担当課長)

休憩 15:05-15:15

(4) 大船渡における防災集団移転団地におけるまちづくり

六本木 久志

(リアスの風 代表)

III 第2部

各地の復興事例

15:15-16:45

(各30分・質疑含む)

(5) 宮城県におけるURの新しい取り組み

佐々木 淳一

(都市再生機構宮城・福島震災復興支援本部
住宅整備部 住宅計画チームチームリーダー)

(6) 放射能汚染地域の帰還に向けたまちづくりの現状

宮口 勝美

(福島県浪江町 副町長)

閉会 16:45